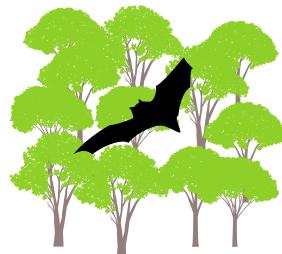
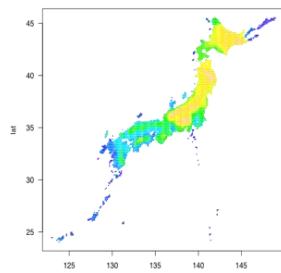


福井 大 講師

附属演習林 森林圏生物機能生態学研究室



森林環境との関係



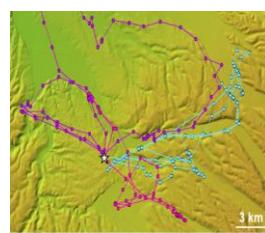
広域分布パターン



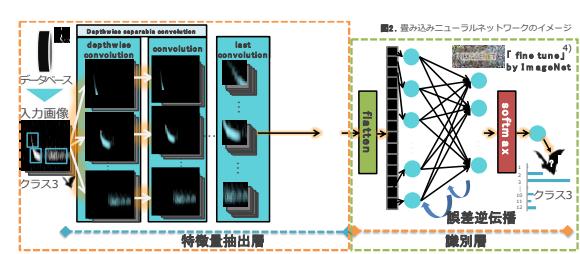
餌昆虫との相互作用



採餌移動パターン

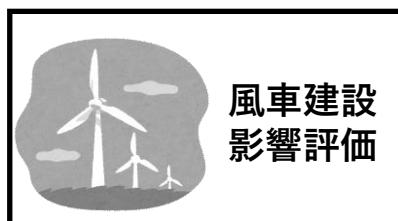


採餌移動パターン



音声種判別

応用



風車建設
影響評価



ウイルス
拡散モデル

他にも・・・

- ・保護区の設定
- ・動物の移動に学ぶ工学システムなど

コウモリは地球上で1,400を超える種が生息し、形態・生態・生理・生活史・行動が驚くほど多様化したグループです。その優れた飛翔能力やエコーロケーション（反響定位）能力は、工学分野にも応用されるほどです。ただ、暗闇で行動するが故に、その生態や生活史、行動にはまだ未だ未知な部分が多い生き物でもあります。一方で、環境改変により絶滅の危機に瀕している種が多く、保全対策を早急に行う必要がある種が多く存在します。また、近年では新型コロナなどの人獣共通感染症のホストとしても注目を集めたり、風力発電施設への衝突問題など、さまざまな社会的課題に直面しています。

さまざまなアプローチからコウモリの驚くべき不思議を明らかにすると共に、研究成果を社会的課題の解決に活かすことを目指しています。



東京大学大学院農学生命科学研究科・農学部

Graduate School of Agricultural and Life Sciences / Faculty of Agriculture, The University of Tokyo